令和7年度 第2回崇化館地域会議 会議録

■日 時 令和7年6月17日（火）午後6時30分～午後8時

■場 所 崇化館交流館 4階 第2会議室

■出席者 <委員> 伊藤 貴史 稲本 泰孝 井上 眞一 木村 友浩
 柘植 伸夫 戸田 博基 服部 啓二 林本 基
 日恵野 雅俊 藤井 康博 藤村 匡泰 本多 鋭孝
 山内 由美子
 <欠 席> 太田 眞由美 永井 靖美 永山 慎二 松山 純成
 <交流館> 森波 かおり（崇化館交流館長）
 <事務局> 杉浦 智文（拳母事務所長） 田嶋 優俊（地域交流課担当長）
 柴田 健太郎（地域交流課主査）

■次 第

- 1 開会 豊田市民の誓い唱和
- 2 会長あいさつ
- 3 意見聴取の実施に向けて
(1) 意見聴取に向けて決めること
(2) 大学との連携について

■議 事（要約）

- 3 意見聴取の実施に向けて
(1) 意見聴取に向けて決めること

意見聴取の目的、対象者、手法を決めることの必要性について事務局から説明した上で、前回の会議で出た意見をグループワークにより検討し、決定した。

また、アンケート内容について、事務局からアンケート案を提示し、グループワークにより検討の上、意見交換した。今回の意見を踏まえ、事務局で様々なパターンのアンケート案を提示し、次回に決定することとした。

【意見聴取の目的】

- ・地域課題というマイナス部分のみを聴くだけではなく、地域のよいところも挙げてもらい、そこをさらに伸ばすというのがよいのではないかと。

【対象者】

- ・対象者は特に絞り込む必要はないと考えるが、回答者が地域住民かどうかは確認できるアンケート内容が望ましい。

【手法】

- ・紙によるアンケートだと集計や配布、回収が負担となるため、アンケート手法がデジタル化できるとよい。
 - ・マークシート形式も手法の一つではあるが、理由が深掘りできない可能性が高い。
 - ・すべての地域住民を対象に紙でアンケートを実施する場合、アンケート用紙の配布、回収はかなりの負担になるため現実的ではない。
 - ・ふれあいまつりでアンケートに協力した場合、なんらかの景品があるとよい。
 - ・アンケートフォームの二次元コードを街中に設置する、という手法もある。
- 次回に改めて検討することとした。

【アンケート内容】

- ・地域住民以外が回答する時のために、崇化館地域の区域がわかるようにすべき。
- ・「まちに賑わいが無い」という設問には疑問を感じる。
- ・崇化館地区の住民は公共交通機関を使用する人が少ないため、公共交通機関に関する設問は不要では。
- ・「困りごと」「改善すべきこと」ではなく「印象」を聞くこととし、各テーマに対する点数回答とすることで、崇化館地域の強みや弱みがわかる。点数の高い又は低い項目については、その理由と対応策を記載してもらいたい。
- ・点数回答方式であれば回答者の負担もそれほど大きくないため、設問数を増やしてもよいと思う。
- ・「市民が使える運動施設について」という設問があってもよいと考える。

(2) 大学との連携について

前回の会議で話題のあった、意見聴取を実施する過程における大学との連携について、手法や可能性について事務局から説明を行った。

【主な意見】

- ・中心市街地の活性化に興味がある先生がいれば参考意見が聞けるかもしれない。

以上

《今後の予定》

●令和7年度 第3回崇化館地域会議

日 時：令和7年7月15日（火）午後6時30分～
場 所：崇化館交流館 4階 第2会議室